

2026年5月20日
ペットファーストホールディングス株式会社**ペットファーストグループ CSR 活動「Pets always come first プロジェクト」
補助犬育成支援により、14 頭目のペットファースト聴導犬が誕生！**

“Pets always come first”を理念に掲げるペットファーストホールディングス株式会社（本社:東京都目黒区、代表:坂本 晴彦）は、CSR 活動「Pets always come first プロジェクト」の取り組みとして、2016 年より公益財団法人 日本補助犬協会（横浜市旭区、代表理事:朴 善子、以下 日本補助犬協会）へ補助犬育成支援を行っています。

そしてこの度、2026 年 2 月 22 日に開催された第 42 回身体障害者補助犬認定審査会において、14 頭目となる“ペットファースト聴導犬”が誕生しました。^{*1}

*1: ペットファースト聴導犬とは、当社支援で誕生した聴導犬です。

■ 14 頭目のペットファースト聴導犬「リンちゃん」紹介

聴導犬は、耳の不自由な人の快適で安全な生活を支える役目を担う、身体障害者補助犬です。ドアのチャイムや携帯電話の着信音など生活していく上で必要な音をユーザーに代わって聞き、タッチや誘導など様々な動作によって音が鳴ったことを知らせます。

第 42 回身体障害者補助犬認定審査会において、当グループが育成支援した「リン」が見事審査に合格し、正式に聴導犬として活動を開始しました。

**【リンちゃん プロフィール】**

名前: リン
性別: 女の子
犬種: トイ・プードル
聴導犬認定日: 2026 年 2 月 22 日
性格: いつも明るく、元気いっぱいな女の子。
人が大好きで、甘えん坊な一面もあります。

現在は、当社ダイバーシティ推進室のメンバーでもあり、聴覚障がいを持つユーザーと共に暮らし、生活をサポートする大切なパートナーとして活躍しています。

■ ペットファーストグループの補助犬育成支援活動

ペットファーストグループは日本補助犬協会と連携し、2016 年から聴導犬の育成支援を始めました。年間 2 万組以上のペットとお客さまのご縁を繋ぐ私たちらしい社会貢献の形を考え、発足されたのが「聴導犬育成プロジェクト」でした。聴覚障がいのある方に聴導犬を提供するために育成を支援し、これまでに 13 頭の聴導犬、2022 年には介助犬の育成支援も行いました。

さらに、当グループから聴導犬の候補となる子犬の寄贈も行い、現在国内に 52 頭しかいない聴導犬の普及にも貢献しております。^{*2}

▼ペットファーストの主な支援内容**①候補犬の寄贈**

→聴導犬の候補となる子犬を日本補助犬協会へ提供し、10頭がペットファースト聴導犬として活躍しています。

②聴導犬候補の訓練支援

→すでに適正があると認められ訓練を開始している候補犬の訓練期間中の支援を行っています。

*2:厚生労働省「令和7年度身体障害者補助犬実働頭数(10月)」より(<https://www.mhlw.go.jp/content/12200000/001572392.pdf>)

■聴導犬 リンちゃんのパートナー 福永順子（ペットファースト ダイバーシティ推進室）コメント

マルコ（これまでパートナーとして暮らしてきた聴導犬）の引退で、リンを我が家に迎え入れるまでの約一ヶ月半、無性に淋しく過ごしていました。いかに聴導犬に助けられていたか、「無くてはならない存在」と改めて気付かされました。

リンを迎え入れて、本当にありがたく、充実した毎日を送っており、ペットファーストの支援に大変感謝しております。

リンは本当に賢く、穏やかで無駄吠えはしません。意思表示は必ず前足で知らせてくれますので、分かりやすいです。相手が犬ではなく人間と話しているような錯覚の毎日です。

これからは、こんな素晴らしい聴導犬の理解を多くの聴覚障がい者にも普及し、過ごしやすい社会になることを切に願っています。

■公益財団法人日本補助犬協会 認定免許センター施設長 獣医師 加藤精二氏 コメント

平素より聴導犬育成等、様々なご支援を賜り、誠にありがとうございます。

補助犬は、健康面・衛生面・行動面全てにおいて、ユーザーによる適切な管理のもとで、その役割を果たしています。

こうした日々の積み重ねが、ユーザーの安心で安全な生活につながっているものと実感しております。

その中で、獣医師として私は健康面から関わり、良好な日常生活を維持していくことの重要性を日々実感しております。

ペットファースト様には、こうした側面にもご理解いただき、継続的なご支援を賜っておりますこと、深く御礼申し上げます。

今後も補助犬がその役割を果たせるよう、健康管理の面から尽力してまいります。引き続き変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、「聴導犬 リン」へのご支援に心より感謝申し上げます。

【公益財団法人日本補助犬協会について】

日本補助犬協会は、日本で唯一 3種類（盲導犬、介助犬、聴導犬）を横断的に育成・認定・啓発する、内閣府認可の公益財団法人です。障がいの有無・性別・出身にかかわらず多様な人たちが、支える側・受ける側に分かれることなく個人がその能力を発揮しながら運営する法人です。当協会は 2002 年の身体障害者補助犬法の施行を機に設立されました。私たちがこれまで育成し、無償貸与してきた補助犬の数は、128 頭（盲導犬：45 頭、介助犬：25 頭、聴導犬：58 頭 ※2026 年 4 月 1 日付け）になります。

補助犬育成事業は補助犬をユーザーに貸与して終わりでは無く、補助犬として実働中は定期的なフォローアップを行い、引退後は協会に引き取り、わたしたちは一頭一頭の犬たちが生まれてから亡くなるまでの一生に責任を持ちます。

■ Pets always come first プロジェクトとは

ペットファーストグループは“すべてのペットを笑顔にする。”をコンセプトに、2011年よりCSR活動「Pets always come first プロジェクト」に取り組んでいます。なお、ペットファーストグループが運営する P's-first でお迎えいただいたペット一頭につき 1,000 円と、保護犬・猫の譲渡収益のすべてを活動原資としております。

Pets always come first プロジェクトでは補助犬への支援・認知活動以外にも、一般のペットへのマイクロチップ無償装着活動、保護犬猫譲渡活動、ペットの難病に関する大学との産学協同連携などの、ペットが健康で幸せに暮らせる社会を実現するための様々な取り組みを行っています。

■ 会社案内

【会社名】 ペットファーストホールディングス株式会社

【所在地】 〒153-0063 東京都目黒区目黒 1-24-12 オリックス目黒ビル 9F

【資本金】 100 百万円

【売上高】 14,659 百万円（2024 年度実績）

【従業員数】 1,271 名（うち獣医師 100 名 愛玩動物看護師 81 名※業務委託含む）2026 年 4 月末時点

【代表者】 代表取締役会長 CEO 坂本晴彦

取締役社長 COO 正宗伸麻

【ニュースレター】 <https://www.pfirst.jp/newsletter.html>

※2025 年 6 月 6 日、ペットファーストホールディングス株式会社は、アークランズ株式会社のグループ会社となりました。

【会社名】 アークランズ株式会社

【所在地】 〒955-8501 新潟県三条市上須頃 445 番地

【資本金】 6,462 百万円

【売上高】 341,141 百万円（2026 年 2 月期）

【従業員数】 14,579 名

【代表者】 代表取締役会長 CEO 坂本晴彦

代表取締役社長 COO 佐藤好文

【その他】

アークランズ株式会社は「くらし、満たす。こころ、満たす。」をスローガンに業界をリードする生活価値提供グループを目指し、ホームセンターの「ムサシ」、「ビバホーム」、とんかつ専門店「かつや」、からあげ定食専門店「からやま」等の「住」と「食」に関わる事業を展開します。独自の進化と変化を続ける事で専門性を極め、お客様の「もっとくらしを豊かにしたい」というおもいにお応えします。

■ お問い合わせ先

【本掲載内容について】

ペットファーストホールディングス株式会社

総務本部 広報・CSR グループ

電話番号 03-6910-4500

担当者 西河・小野